石垣市、新たに2ホテルと協定

津波時の一時避難施設に

石垣市は11日午後、地震や津波発生時における一時避難施設として、新たに「ホテルグランビュー石垣 The First」と「ホテルグランビュー石垣 新川」の2施設を指定し、同ホテルと協定を締結した。今回の締結で、同市が協定を結んだ津波一時避難施設は計33カ所となり、避難者収容人数は480人増え、1万7584人となった。

市役所で行われた調印式には、石垣市の中山義隆市長とホテル側の株式会社ホテルグランビューの小尾一代表取締役社長と2つのホテルの玉城正憲第一支配人が出席した。

一時避難施設として新たに「ホテルグランビュー石垣 The First」と「ホテルグランビュー石垣 新川」の2施設を指定した＝11日、石垣市役所

石垣市では、過去に明和の大津波による甚大な被害を経験しており、地震・津波への備えは喫緊の課題となっている。

調印式で中山市長は「観光客の多い石垣市において、津波避難施設として重要な役割が期待される。市民と行政が一体となった災害に強いまちづくりを進めていきたい」と述べた。

協定に基づき、両ホテルは津波警報等が発令された際、市民や観光客が一時的に避難できるよう建物の開放や誘導を行う。

小尾代表は「当ホテルは東日本大震災の教訓を踏まえて防災拠点として機能するよう設計し、社内で避難マニュアルを作成、細かい対応を明記している。従業員の命を最優先に、多くの観光客や地域の方々が安心して避難できるよう、今後も努めていきたい」と語った。

市では今後も広報や訓練を通じて、避難施設の周知と活用促進を図る方針という。

今年度に入学した岡田君（写真右）＝11日午前、吉原小

介後、祝辞を述べた市教育委員会の翁長致純教育部長は「今日から先生の話をよく聞いて、勉強や運動を頑張ってほしい。これからは自分のこいこう」と呼び掛けた。

あいさつした岡田君は「算数を頑張りたい」と自己紹介で話した。父親の賢介さん(47)は「少人数の小学校生活を満喫してほしい」と我が子の学校生活に期待した。

このほか、吉原公民館の仲松浩次館長や同校PTAの東輝文会長も祝辞を述べた。